

(仮称)内原地区図書館準備だより (3)

平成 21 年 5 月 21 日 水戸市立中央図書館 新館開設準備係 電話 029-226-3951

(仮称)内原地区図書館は現在、開架室では型枠工事と配筋工事が行われています。配筋工事とは鉄筋を配置する工事をいいます。主に異形鉄筋(いけいてつきん)と呼ばれる構造用の材料を使用します。鉄筋を型枠で囲んだ後にコンクリートを打ち込みます。

① 5月20日撮影

※図書館の西側から撮影したものです。



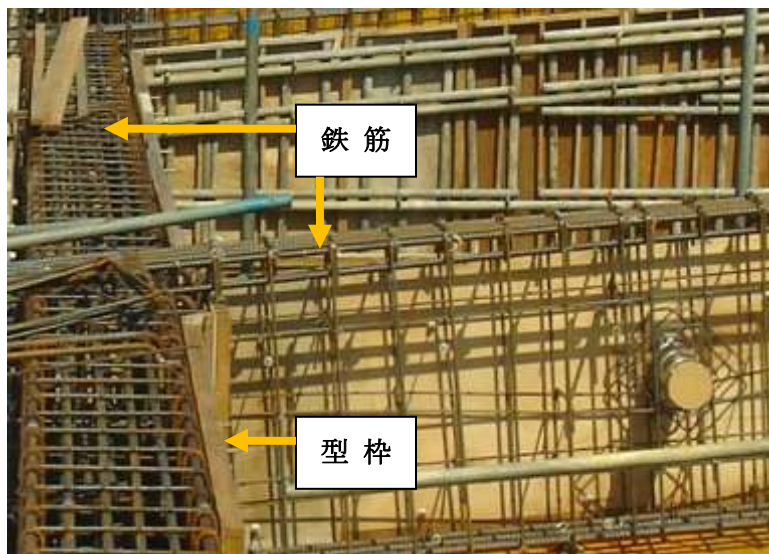
図書館の周りには、工事を行うための外部足場があります。

外部足場は手の届かない高所で作業をするために組み立てられるものです。

この現場では、最も高い箇所です。8.5mになります。

② 5月20日撮影

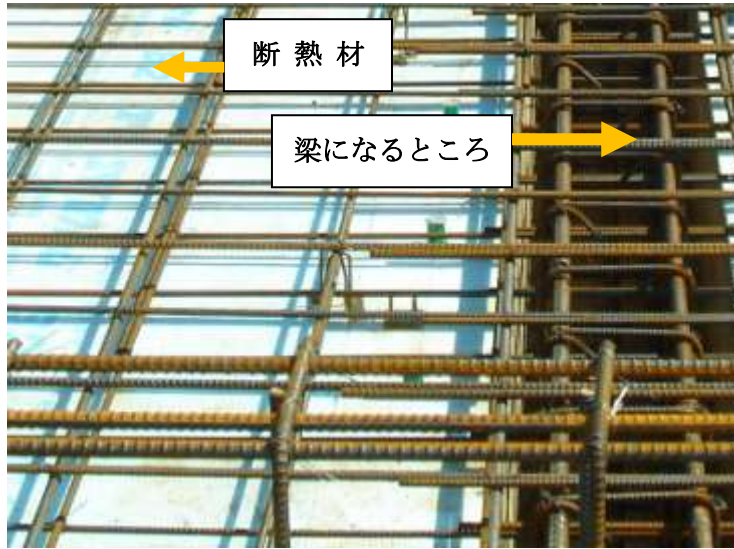
※閉架書庫の上から撮影したものです。



鉄筋が配置されています。この後、型枠が設置され、コンクリートが打ち込まれます。

③ 5月20日撮影

※図書館の南側の足場から撮影したものです。



読み語り室付近の屋根です。
鉄筋の下にある青いシートのように見えるものが断熱材です。
断熱材を敷設することにより冷暖房が効率化され、図書館内は快適な空間となります。
写真の右側の断熱材がないところは、コンクリートが打ち込まれると屋根の荷重を受ける梁(はり)となります。

※ 写真撮影箇所図(写真は矢印の方向に向けて撮影しました)

